

様式 A-13-2 【記入例】

研究成果報告書未提出者に係る交付申請留保届

令和2年〇〇月〇〇日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

研究機関名： 〇〇大学

代表者職名： 学長

氏名： □□ □□

[職印]

機関番号： 1 2 3 4 5

該当する種目ごとに作成すること

令和2(2020)年4月1日付けで交付内定通知があった令和2(2020)年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)の以下の課題については、代表者が特段の理由があって他の研究種目の研究成果報告書を提出していないため、当該理由が消滅し、代表者が研究成果報告書を提出後に交付申請することとしたので報告します。

種目名	データベース					
課題番号	所属部局・職	研究者番号／ フリガナ 代表者氏名	交付予定総額	研究成果報告書 提出予定年月日	研究開始(再開) 予定年月日	研究成果報告書の未提出理由 (1, 2から選択) 1: 失踪 2: 病気・けが
20HP1234	〇〇学部・教授	12345678 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇〇	1,000,000円	令和2年7月31日	令和2年8月1日	2
				令和 年 月 日	令和 年 月 日	
				令和 年 月 日	令和 年 月 日	

忘れずにフリガナを付すること

「研究成果報告書の提出予定時期(年月)」欄には、研究成果報告書を提出できない理由に基づき、現実に研究成果報告書を提出する予定の時期を記載すること
 「研究開始(再開)予定年月日」欄には、「研究成果報告書の提出予定時期(年月)」より後の年月日を記入すること

「研究成果報告書の未提出理由」欄は、「1: 失踪」又は「2: 病気・けが」のうち、該当する番号を記入すること

本様式は、代表者が、令和元(2019)年度以前に提出しなければならない他の研究種目の研究成果報告書を、特段の理由(失踪又は病気・けが)があって提出していない場合において、交付申請の留保を希望する場合に作成すること。(研究成果報告書を提出していない代表者からの交付申請は受け付けない。)なお、当該年度の9月末日までに研究成果報告書を提出することが可能となる代表者のみ、本様式を作成すること。(当該年度の9月末日までに研究成果報告書を提出することができない場合については、交付申請の辞退届を提出すること。)9月末日までに研究成果報告書の提出がなされない場合は、交付内定が取り消されることとなる。